

氏名	丸山 優	部署	看護学科	職名	講師
研究分野	老年看護学				
学位	博士(看護学)				
学歴	1999年千葉大学看護学部卒業、2004年千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了、2017年順天堂大学医療看護学研究科博士後期課程修了				
経歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助手、2012年同講師				
所属学会(役職)	日本老年看護学会、日本看護科学学会、日本看護教育学会、日本認知症ケア学会、千葉看護学会、プライマリケア学会、日本保健医療福祉連携教育学会、SPU学会				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	認知症ケアガイドブック 第Ⅴ部—2生活リズムの調整とケアの実際、3日常生活機能のアセスメントとケア運動(移動)	共著	照林社、325 (執筆部分119-125、150-154)	丸山優、日本看護協会編	2016.6
(2) 論文					
1	高齢患者の急性期病床から療養病床への継続療養に関わる課題:療養病床の看護師が転入に関して困難を認識する状況	共著	老年看護学.21(1).50-58.	丸山優、湯浅美千代	2016.7
2	IPWコンピテンシー自己評価尺度の開発(第1報)—病院に勤務する中堅の専門職者への調査から—	共著	保健医療福祉連携.9(2).141-156	國澤尚子、大塚真理子、丸山優、畔上光代	2016.10
3	IPWコンピテンシー自己評価尺度の開発(第2報)—病院に勤務する保健医療福祉専門職全職員のIPWコンピテンシーの測	共著	保健医療福祉連携.10(1).2-18	國澤尚子、大塚真理子、丸山優、畔上光代	2017.3
(3) 学会発表					
1	開放型病床に入院した認知症高齢者の様相(第2報) 内科的治療目的で自宅から入院した認知症群と非認知症群の比較	共著	認知症ケア学会.神戸市	○丸山優、田中敦子、須賀夏子、畔上光代、辻玲子 他	2016.6
2	開放型病床に入院した認知症高齢者の様相(第1報) 入退院時の状況の比較から	共著	認知症ケア学会.神戸市	○大塚真理子、丸山優、田中敦子、須賀夏子、畔上光代 他	2016.6
3	開放型病床に入院した認知症高齢者の様相(第3報) 入退院の経路における歩行と排泄に関する介護度の変化	共著	認知症ケア学会.神戸市	○田中敦子、丸山優、須賀夏子、畔上光代、辻玲子 他	2016.6
4	認知症の人の家族介護者からみえた長期療養における専門職連携とその評価 家族介護者へのインタビュー調査を通して	共著	認知症ケア学会.神戸市	○須賀夏子、大塚真理子、畔上光代、辻玲子、丸山優 他	2016.6
5	急性期病床から医療療養病床に移行した高齢患者の転入時ケア実践モデルの開発—構成要素と構造の検討—	共著	千葉看護学会.千葉市	○丸山優、湯浅美千代、島田広美	2016.9
6	How does gathering information prevent accidents during days when elderly patients are transferred from acute to long-term care?—Practices in long-term	共著	The 20th East Asian Forum of Nursing Scholars. Hong Kong	○Yu Maruyama, Michiyo Yuasa	2017.3
7	Necessary elements of interprofessional work in discharge support for elderly patients in dementia from acute-care hospitals	共著	The 20th East Asian Forum of Nursing Scholars. Hong Kong	○Etsuko Kikuchi, Reiko Tsuji, Mariko Otsuka, Yu Maruyama et al	2017.3
8	Ideals and actual behaviors in community involvement among nurses at urban clinics	共著	The 20th East Asian Forum of Nursing Scholars. Hong Kong	○Mariko Otsuka, Naoko Kunisawa, Yu Maruyama, Michie Ogushi et al	2017.3
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	急性期治療後の高齢者が転入する後方支援施設での多職種情報共有包括ケアモデルの開発(研究代表者)			2015.4~2018.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)	認知症高齢者の長期療養を専門職連携実践で支える研修プログラムの開発(研究分担者)			2014.4~2018.3

3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究)	都市型診療所における看護師のコンピテンシーとその構造化(研究分担者)	2014.4~2018.3
4	埼玉県立大学研究開発センタープロジェクト研究C-1	在宅医療・介護における多職種連携研修プログラムの開発(研究メンバー)	2016.4~2018.3
3. 教育業績			
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1) 講義			
1	老年看護学Ⅲ	2017.1	3年次生を対象に、医療機関と地域が継続して高齢者を支援することを学べるようにグループワークを支援した。
(2) 演習			
1	老年看護学Ⅱ	2016.4~2016.7	3年次生を対象に、老年看護の対象者理解と援助方法の学習を目的として、事例学習、実技演習を行った。
2	IPW演習	2016.10~2016.2	3年次生を対象に、多学科合同グループで模擬事例を検討するワークを支援した。
(3) 実習			
1	老年看護学実習Ⅰ	2016.4~2016.6	2年次生を対象に、老人福祉センターにおける実習を担当した。元気な高齢者との関わりを通して、高齢者の特徴と多様性を学べるように関わった。
2	老年看護学実習Ⅱ	2016.10~2016.12	3年次生を対象に、医療療養病床における実習を担当した。脆弱な高齢者の生活をとらえた看護実践を指導した。
3	総合実習(老年看護学領域)	2016.7	4年次生を対象に、医療療養病床における実習を担当した。個々の課題に合わせて学習が進められるように関わった。
4	IPW実習	2016.10	在宅診療を行う診療所で、対象者の望む生活を支援するための多職種で協働した活動について学生が主体的に学べるように支援した。
(5) その他			
1	卒業課題研究指導	2016.4~2017.1	3名
2	山西医科大学留学生指導	2016.4~2017.2	山西医科大学からの留学生4名に対して、授業および見学実習を支援した。
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	看護研究研修会講師	越谷誠和病院	看護研究について
2	看護研究指導講師	越谷誠和病院	看護研究指導
3	さいたま市立病院研修会講師	さいたま市立病院	急性期病院における多職種連携での認知症高齢者支援について
4	指扇療養病院研修会講師	指扇療養病院	多職種連携について
開催年月	2016.11	2016.4~2017.3	2016.7~2017.2
2016.10~2017.2			
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	山西省留学生担当		
2	3年生担任		
3	国家試験対策プロジェクトメンバー		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	認知症ケア学会石崎賞;開放型病床に入院した認知症高齢者の様相(第2報) 内科的治療目的で自宅から入院した認知症群と非認知症群の比較	認知症ケア学会	2016.6
2	認知症ケア学会石崎賞;開放型病床に入院した認知症高齢者の様相(第3報) 入退院の経路における歩行と排泄に関する介護度の変化	認知症ケア学会	2016.6
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
博士学位論文(順天堂大学) 急性期病床から医療療養病床に移行した高齢患者への転入時ケア実践モデルの開発			